

交通・市民協働・住環境・安全

●身近な道路交通ネットワークの整備促進

交通対策事業

1億4,358万円

未来創造・交通政策課

住民の島内交通手段の確保のため、予約制乗合タクシーの運行委託、対馬交通㈱へのバス路線維持費補助等を行います。

【主な経費】

- 乗合タクシー運行委託料・・・・・・・・・・237万円
- 対馬市地域公共交通活性化協議会負担金・・733万円
- 地方バス路線維持費補助金・・・・・・・・1億2,500万円
- バス購入事業補助金・・・・・・・・・・888万円

市営有償バス運行事業

2,381万円

未来創造・交通政策課

市所有のスクールバスの空き時間等を利用して市営バスを運行し、住民の交通手段の確保に努めます。

【主な経費】

- 市運営有償バス運行管理委託料
・・・・・・・・・・2,381万円



お知らせ

平成27年5月17日から、平日も1日フリーパスポート（1,000円）が利用できます。路線バス・市営バス・乗合タクシー（比田勝～厳原棧橋間を除く）が1日乗り放題となります。



対馬交通㈱各営業所若しくは、バス内（運転手）及び乗合タクシー内（運転手）で販売されます。

●安全で質の高い住環境の整備

合併処理浄化槽普及促進事業

3,716万円

環境政策課

し尿と生活排水を併せて処理する浄化槽の計画的な整備推進を図るため、設置者に対し浄化槽設置補助金を交付し、公共水域の水質汚濁の防止、公衆衛生の向上を図ります。

【主な経費】

- 合併処理浄化槽設置事業補助金・・・・・・・・3,716万円

消防団安全確保装備品整備事業

672万円

消防本部

消防団員が、災害活動時に安全に活動する為の装備品として、安全靴・救命胴衣・作業手袋及びヘッドライト等を配備し、団員の安全を確保します。（平成27年度から3年間で整備）

【主な経費】

- 消防団員装備品購入・・・・・・・・・・672万円

お知らせ

合併処理浄化槽を設置する場合、助成制度があります！

- 事業主体
対馬市に浄化槽の設置を行う個人並びに法人
- 事業内容
当該年度に対馬市内に浄化槽を設置し、交付の条件を満たした個人、法人に対して、設置費用の一部を補助します。
- 補助対象事業
対馬市浄化槽設備整備事業費

- 補助要件
①本市内に浄化槽を設置する者。
②市税等を滞納していないこと。
- 補助限度額
5人槽・・・・・・・・・・49万8千円
7人槽・・・・・・・・・・62万1千円
10人槽・・・・・・・・・・75万3千円
11人槽以上・・・・・・・・93万9千円
(単独処理浄化槽を撤去し、合併処理浄化槽に変更された場合は9万円の追加補助があります。)

災害対応型再生可能エネルギー設備設置事業

3,594万円

未来創造・交通政策課

対馬市防災計画において、避難所として指定されている比田勝小学校に蓄電池を設置し、災害時にも最低限の電力を確保します。また、電力消費量の少ないLED照明を災害時用の非常用として同校に整備します。

【主な経費】

- 設計等委託料・・・・・・・・・・297万円
- 工事費・・・・・・・・・・3,227万円

災害時備蓄品購入事業

107万円

総務課

災害時に備え、生活必需品等の確保を目的とした備蓄体制の整備を図ります。（平成27年度から5年間で整備）

【主な経費】

- 飲料水等食糧・衛生用品等購入・・・・・・・・107万円
- ・レトルト食品
- ・備蓄飲料水
- ・災害用備蓄パン
- ・避難所用トイレ

消防設備整備事業

8,411万円

消防本部

災害時においても使用可能な水利整備、老朽化した緊急車両の更新等を行い、消防機動力を向上させ、市民の生命・財産を守ります。

【主な経費】

- 耐震性貯水槽（2基）建設・・・・・・・・2,400万円
- 小型動力ポンプ付積載自動車（5台）購入・・・・・・・・3,001万円
- 消火栓設置負担金・・・・・・・・600万円
- 消防署仮眠室等増設・・・・・・・・1,592万円
- 消防訓練場倉庫建設・・・・・・・・517万円



●市民協働によるまちづくりの構築

地域マネージャー制度活用事業

120万円

市民協働・自然共生課

市民協働のまちづくりの重要な手法の一つとして、地域マネージャー制度を継続的に活用し、更に、制度成熟度の向上を図ります。

【主な経費】

- 先進地視察旅費（地域マネージャー分）・・・・48万円
- 先進地視察調査補助金・・・・・・・・72万円

アドバイザー派遣支援事業

100万円

市民協働・自然共生課

市民協働のまちづくりを進める中で発生する地域の生活課題、産業・教育・福祉等の課題に関して、専門講師の招へいにより課題解決の手助けをします。

【主な経費】

- アドバイザー謝礼・費用弁償・・・・・・・・90万円

アドバイザー派遣支援事業

地域のあらゆる課題解決に専門家・講師を派遣します！

対馬市で登録した アドバイザー

- ①まちづくり・地域づくり
- ②加工技術・特産品開発・販路拡大
- ③自然環境保全
- ④福祉・保健衛生
- ⑤文化・文化財・生涯学習
- ⑥スポーツ・健康振興
- ⑦地域イベント・伝統継承
- ⑧企業・市民活動団体育成など

- ①アドバイザー謝礼金
1人/1日4万円程度
- ②アドバイザー旅費
出発地問わない
- ③資材・教材等消耗品費
1万円程度

〈対象者〉

- ①行政区・地域住民
- ②市民活動団体
- ③企業 など

要請

総合計画策定事業

644万円

政策企画課

平成18年度～平成27年度を期間とする「第1次対馬市総合計画」に引き続き、総合的かつ計画的な市政運営を図るために、平成28年度を初年度とする「第2次対馬市総合計画」を策定します。

【主な経費】

- 総合計画審議会委員報酬
・・・・・・・・・・59万円
- 総合計画審議会委員費用弁償
・・・・・・・・・・25万円
- 総合計画策定委託料
・・・・・・・・・・512万円
- 総合計画印刷製本費
・・・・・・・・・・47万円



集落支援員制度活用事業

2,953万円

市民協働・自然共生課

各地区・各校区地域づくり計画を作成し、地域ごとの将来ビジョンの具現化を目指します。地域マネージャーと地域の連携を更に密にするため、集落支援員（内部支援員／25名）を採用します。また、地域づくり計画の作成作業を進めるにあたり、専門的識見をもった集落支援員（外部支援員／6名）を採用し、様々な資源を掘り起こし地域の特性を生かした総合計画の策定を目指します。

【主な経費】

- 集落支援員報酬等・・・・・・・・・・2,500万円
- 集落支援員研修費・・・・・・・・・・68万円
- 集落支援員活動経費・・・・・・・・・・385万円

わがまち元気創出支援事業

911万円

市民協働・自然共生課

これからのまちづくりは、まちづくりの基軸を「地域・地区」に置くことや、地域コミュニティの意識の形成・醸成、住民発意型のまちづくりへの移行、NPO・ボランティア等の強化促進が必要であるため、このことを目的とし市民が自ら考え、自らが実践する、市民が主役のまちづくりを推進するための支援を行います。

【主な経費】

- わがまち元気創出支援事業補助金・・・・・・・・900万円



お知らせ

地域のまちづくりを推進する場合、助成制度があります！

●事業主体

市内各地区、市内にあるNPO法人等

●事業内容

市民参画や協働による人づくり・まちづくりを推進するため、地区、NPO等が自ら考え、自ら実践する人づくり・地域づくり事業に対し事業費の補助を行います。

●補助対象事業

報償費・旅費・消耗品費等需用費（食糧費は除く）・役務費・使用料・原材料費・備品購入費など

●補助限度額

・市民特認事業

承認事業費から特定財源を差し引いた額の全額（100万円が上限）

・認可事業

承認事業費から特定財源を差し引いた額に3/4を乗じた額（50万円が上限）

いずれも備品購入費は算定が異なります。



地域活性化・地域住民生活等 緊急支援交付金事業

平成26年度国の補正予算による緊急経済対策交付金を活用して以下の事業を実施します。（平成26年度対馬市一般会計補正予算（第7号）（平成27年3月）計上事業）

●対馬域内消費拡大事業

9,506万円

観光交流商工課

プレミアム商品券等を発行し、様々なイベントと協調しながら市内の消費拡大、商業の発展、子育て世帯の支援（商品券のプレミアム部分の上乗せを予定）を図ります。

●対馬版人口ビジョン及び総合戦略策定

1,198万円

政策企画課

人口減少・高齢化という市が直面する大きな課題に対し、地域の人口動向の分析を行い人口の将来展望を示すとともに、地域の特徴を活かした自律的で持続的な社会を創生するための目標を設定し、講ずべき施策の方向性を示していきます。